

小中学校の ICT 環境を整備します！

2020年度から全面実施となる新学習指導要領では、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の実現に向けた授業改善や、プログラミング教育の導入が求められており、これらを実現するため、今年度から3ヶ年で電子黒板や実物投影機・タブレット端末といった学校におけるICT環境整備を進めていきます。

どうして ICT 環境整備が必要な？

【理由その1】 将来を生きる子どもたちに必要な資質・能力が変わるからです！

グローバル化やAIに代表されるような情報化の急激な進展など、社会が目まぐるしく変化しています。これからの時代を生きていく子どもたちには、「何を知っているか」ということだけではなく、「知っていることをどう使うか、どのように伝えるか」といった社会の変化に対応できる思考力や判断力、表現力、そして、他の人と協働して課題解決していく力を身に付けることが重要となります。また、情報活用能力や、プログラミング的思考の育成が求められています。

【理由その2】 子どもたちに必要な資質・能力を育むための授業改善が求められているからです！

新学習指導要領では、子どもたちの思考力や判断力、表現力を育むため「どのように学ぶか」といった視点で、従来の授業から、さらに主体的・対話的で深い学びとなる授業（アクティブ・ラーニング）に改善していくことが求められています。このような授業改善を実現するため、全小中学校に電子黒板や実物投影機、タブレット端末を整備し、これらを活用した新しい学びを通して、子どもたちの学力向上に取り組めます。

ICT環境整備で授業はどう変わるの？

台形の面積を求めるにはどうすればいいでしょうか？

台形を2つ組み合わせたら・・・

台形を三角形に分解したら・・・

台形の面積を求めるには、〇〇とすればよいと思います

電子黒板やタブレット端末を使って、子どもたちが自分で考え、発表し、みんなの意見と比べながら、考えを深める授業へ！

<問い合わせ先>教育センター教育情報室 Tel.245-6310

check!

教育委員会の広報誌は熊本市のホームページでも見ることができます

熊本市ホームページ (<http://www.city.kumamoto.jp/>) > 分類から探す > 学び・観光・スポーツ > 教育・学校・青少年・若者 > 教育・学校・青少年の情報

with you (ウィズ・ユー) についてのご意見・ご要望をお寄せください。

編集・発行 〒860-8601 熊本市中央区手取本町1-1 熊本市教育委員会教育総務部教育政策課

TEL 096-328-2704 FAX 096-359-6951 e-mail: kyouikuseisaku@city.kumamoto.lg.jp

●『学校改革！教員の時間創造プログラム』について

学校を取り巻く環境が複雑化・多様化し、学校に求められる役割が拡大する中において、教職員の長時間勤務の実態が明らかとなっています。

そこで、教職員が心身ともに健康で、ゆとりを持って子どもたちと向き合える環境をつくっていくために、教職員の長時間勤務の実態改善に向け平成30年3月、「学校改革！教員の時間創造プログラム」を策定しました。

熊本市が教員の長時間勤務の改善に取り組む理由

(1) 熊本市における教職員の勤務実態

- ・平成29年4月から平成30年2月までの期間において、正規の勤務時間外の在校時間が、いわゆる「過労死ライン」といわれる1か月80時間を超えた教職員数が793人（全教職員の約19.5%）となっており、また、教員が十分な休憩時間も確保することが難しい状況であることが分かりました。

(2) 教職員の自己研鑽の時間の確保

- ・社会の多様化・複雑化などの背景や新学習指導要領の着実な実施に向け、これまで以上に、教職員自身が自ら学び、幅広い経験・研鑽を積み、実社会に触れることが必要です。しかし、長時間勤務によって、新しい教育的課題に対し、教職員自身が十分に学ぶ時間が確保できていない状況です。

プログラムの目標

平成32（2020）年度までに達成する目標として、次の2つの数値を設定します。

目標1 正規の勤務時間外の在校時間が1か月80時間を超える教職員数

0人

目標2 教職員の正規の勤務時間外の在校時間 対H29年度実績比で

25%減



教職員の長時間勤務の実態改善を進めていくことで、

- 教職員が子どもと向き合う時間をしっかり確保していきます。
- 授業や授業準備など子どもの指導や支援に専念できる環境をつくっていきます。

●夏期休業期間中の学校閉庁日について

今年度から、夏期休業期間中に、地域や保護者からの問い合わせ等に対応する日直を置かず、学校主催行事や部活動などを行わない「学校閉庁日」を設定しました。学校閉庁日の期間中の緊急連絡は教育政策課までお電話ください。

【今年度の学校閉庁日】

8月13日（月）から15日（水）まで

※熊本市教育委員会では、各学校の実情に合わせて、上記を含めた学校閉庁日の延長を可能としています。詳しくは、学校を通して教育委員会からの文書を配布しますので、ご確認ください。

学校閉庁日の緊急連絡先（午前8時30分～午後5時）

096-328-2707（教育政策課）

取組方針と具体的取組

プログラムの取組を確実に推進するため、次の3つの取組方針を示します。

【取組方針1】仕事の総量を削減します

<主な具体的取組>

○校務支援システムの導入【H29導入】

成績処理や出欠確認など手作業が多い教職員の事務の効率化を図ります。

○ICTを活用した教材の共有化【H30実施】

教員の本務である「授業」を充実させるため、教材開発を支援します。

○給食費の公会計化と学校徴収金のシステム管理【H32実施】

給食費の徴収、管理、未納者への対応を教育委員会（市）に一元化し、会計の透明性の向上、保護者負担の公平性の確保、保護者の利便性の向上を図ります。

○各種調査の精査及び削減【H30実施】

学校現場のペーパーレス化による負担軽減を図っていくとともに、学校を通じた家庭へのチラシ等の配布基準を作成し外部団体に対しても学校の負担軽減に向けた配慮を求めています。

○各種事務の精査【H30実施】

中学校教員による高等学校の入学願書等の代理提出など、これまで慣習的に教職員が担ってきた事務のあり方について見直していきます。

【取組方針2】マンパワーを充実します

<主な具体的取組>

○再任用短時間教員の活用【H31試行】

経験豊富な退職教員を再任用短時間教員として配置し、授業や生徒への指導等を行うとともに、児童生徒の健全育成と教員の長時間勤務の改善のために、部活動指導員の配置を促進していきます。

○外国専科教員等の配置（小学校）【H30試行】

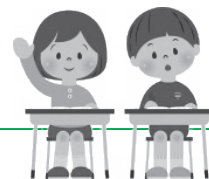
新学習指導要領への対応として、小学校外国語教育の早期化、教科化に伴い外国語専科教員や、外国語指導助手（ALT）等の配置拡充を行います。

○部活動指導員の配置【H31実施】

平成29年3月に改定した「熊本市立小・中学校の運動部活動について〈指針〉」に基づいた部活動の適正な運営に取組みます。さらに中学校における外部指導者の単独引率や単独指導など外部指導者の権限拡大や、部活動指導員の配置を推進していきます。

○スクールソーシャルワーカーの拡充【H30実施】

いじめや不登校など、生徒指導上の諸問題の積極的な予防及び解消のためにスクールソーシャルワーカーの配置拡充を推進していきます。



【取組方針3】時間を意識した働き方を徹底します

<主な具体的取組>

○学校閉庁日の設定【H30実施】

夏期休業中に、外部からの問い合わせ等に対応する日直を置かない学校閉庁日（8/13から8/15）を設定します（緊急連絡先については前ページ参照）。

○留守番応答電話の設置【H30実施】

平成31年1月から、学校の業務終了後は、留守番応答電話による対応とします。緊急時は、熊本県警察本部と各学校長等が緊密に連絡を取れる緊急連絡体制を整備しています。

○タイムカードによる全教職員の勤務時間の把握【H29導入】

ICTを活用して、全教職員の正確な勤務時間の把握に努めます。

○定時退勤日、最終退校時刻の設定【H30実施】

全ての教職員の定時退勤を推進します。PTA主催の会議等についても、教職員の時間外勤務を前提とした開催にならないよう理解と協力を求めています。

○児童生徒の登校時刻の設定【H31実施】

学校の安全管理上の面からも、教員の勤務時間を考慮した合理的な登校時刻を設定します。



今後の検討課題

次の課題については、今後も引き続き検討を進めていきます。

○教頭業務の軽減

平成29年6月の教頭の正規の勤務時間外の在校時間の平均は102時間28分でした。そこで、特に教頭の業務を軽減するための取組を検討していきます。

○教員の休憩時間の確保

本市が実施した「教職員の勤務実態アンケート」から、教員が十分な休憩時間を確保することが難しい状況が分かりました。そこで適正な時間に休憩時間を確保するための取組を検討していきます。

○持ち帰り業務の削減

本市が実施した「教職員の勤務実態アンケート」から、教員が家庭に仕事を持ち帰っている状況が分かりました。今後は、正規の勤務時間外の在校時間だけでなく、家庭への持ち帰り業務時間を削減するための取組を検討していきます。

その他、

○学校による登下校に関する対応、

○放課後・夜間の見回り

などについて保護者や地域、関係機関の皆様の理解と協力を得ながら検討を進めていきます。

●子どもに関する悩みや不安はありませんか？

子どもの養育や教育について、誰に相談したらいいのか一人で悩んでいらっしゃるいませんか。熊本市には、次のような相談機関があります。一人で悩まずに、小さなことでもお気軽にご相談ください。子どもからの相談も受け付けています。



○学校教育に関するあらゆる相談 ※どこに相談したらよいか分からない時

学校教育コンシェルジュ (あいぱる くまもと2階)	電話 メール・FAX	月～金 10:00～18:00 (年末年始、祝日は除く)	096-362-7171 E-mail: 7171con@city.kumamoto.kumamoto.jp FAX: 096-362-7001
------------------------------	---------------	---------------------------------	--

○子ども・若者に関するあらゆる相談 ※どこに相談したらよいか分からない時

子ども・若者総合相談センター (ウェルパルクまもと2階)	電話 メール・FAX	24時間 年中無休受付	096-361-2525 E-mail: kodomosougousoudan@city.kumamoto.lg.jp FAX: 096-366-2558
	面接 (予約優先)	月～金 8:30～17:15 (年末年始、祝日は除く)	

○18歳までの子どもの発達に関する相談

子ども発達支援センター (ウェルパルクまもと2階)	電話	月～土 8:30～17:15 (年末年始、祝日は除く)	096-366-8240
	面接 (要予約)	月～金 8:30～17:15 (年末年始、祝日は除く)	

○発達障がいに関する相談

発達障がい者支援センターみなわ (ウェルパルクまもと2階)	電話・ 面接(要予約)	月～金 8:30～17:15 (年末年始、祝日は除く) 面接相談は予約制	096-366-1919
----------------------------------	----------------	--	--------------

○発達や就学、いじめや不登校などに関する相談

教育相談室 (あいぱる くまもと2階)	来所 (要予約)	月～金 9:30～15:45 (年末年始、祝日は除く)	096-362-7070 FAX: 096-362-7001
教育委員会総合支援課 (マスマチュアル生命ビル4階)	電話・来所	月～金 8:30～17:15 (年末年始、祝日は除く)	096-328-2743

○養育上の悩みや非行・虐待などに関する相談

熊本市児童相談所 (あいぱる くまもと3階)	電話・ 面接(要予約)	月～金 8:30～17:15 (年末年始、祝日は除く)	096-366-8181
---------------------------	----------------	--------------------------------	--------------

○思春期の心の悩みなどに関する相談

こころの健康センター (ウェルパルクまもと3階)	電話・ 面接(要予約)	月～金 9:00～16:00 (年末年始、祝日は除く)	096-362-8100
-----------------------------	----------------	--------------------------------	--------------

○ひきこもりに関する相談 (おおむね10代～)

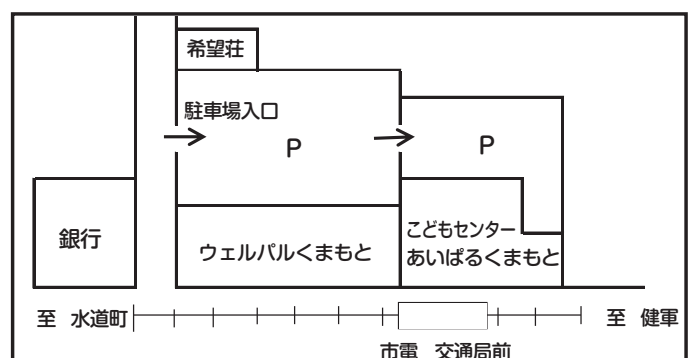
ひきこもり支援センター「りんく」 (ウェルパルクまもと3階)	電話・ 面接(要予約)	月～金 9:00～16:00 (年末年始、祝日は除く)	096-366-2220
-----------------------------------	----------------	--------------------------------	--------------

この夏、熊本市立の中高生を対象に LINE を活用した悩み相談「ほっと LINE」を実施します。8月24日～9月6日の2週間、17:00～21:00で行います。詳しくは、対象の学校を通してお知らせします。

「ウェルパルクまもと」
(〒862-0971 中央区大江5丁目1番1号)
「あいぱる くまもと」
(〒862-0971 中央区大江5丁目1番50号)

交通手段

- ・電車通り (県道28号熊本高森線)
電車・バス→「交通局前」下車すぐ
- ・産業道路
バス→「大江4丁目」下車徒歩5分



●お子さんと一緒に出かけてみませんか ～夏の催し～

夏休みに役立つ本展

熊本市立図書館では、夏休みを迎える子どもたちのために、下記のとおり自由研究等に役立つ本を展示・貸出します。どなたでもご利用できますので、お気軽においでください。

期 間：7月10日（火）～9月9日（日）

場 所：市立図書館1階カウンターの前

内 容：自由研究の本、調べ学習に関する本、各感想文（画）の課題図書等



化石を調べよう



熊本県九州中央山地には、古生代の石灰岩が分布しています。この石灰岩には化石が含まれていることがあります。今回、この化石を調べ、その成り立ちを考えてみましょう。

期 日：夏休み期間中に開催予定

内 容：主にフズリナ石灰岩の観察

※詳しくは熊本市立図書館ホームページをご覧ください。

<問い合わせ先>市立図書館 Tel.363-4522

子ども科学・ものづくり教室

●その1【おもしろ実験・工作に挑戦！】

楽しい科学実験や工作を準備して待っています！

日 時 7月21日（土）
13:30～15:30

場 所 塚原歴史民俗資料館

費 用 入館料

（※市内の小中学生は無料）



●その3【水中UFOキャッチャーを作ろう】

「浮力（ふりょく）」って、聞いたことありますか？

水中UFOキャッチャーをあやつりながら、「浮力」について楽しく学びましょう！

日 時 8月18日（土）13:30～15:00

場 所 塚原歴史民俗資料館 **費 用** 入館料（※市内の小中学生は無料）



現在は休館中のため、上記のイベント等は熊本博物館以外の施設で行っています。塚原歴史民俗資料館だけでなく、熊本市子ども文化会館でも時々行っていますので、熊本博物館のホームページなどを見て参加してください（7月・8月は毎週1回、教室を開催しています）。

いよいよ12月にはリニューアルオープンの予定です。楽しみに待っていてください。

<問い合わせ先>熊本博物館 Tel.324-3500

●小中学校の教科書を閲覧してみませんか ～教科書展示会の開催～

学校で使用されている教科書について、市民の皆様の関心に応え、理解を深めていただくため、教科書展示会（主催：熊本県教育委員会）が開催されます。期間は6月15日（金）から6月28日（木）までで、現在小中学校で使用されている教科書が展示されます。

また、今年は、平成31年度から中学校で使用する道徳の教科書採択の年です。採択の対象となる道徳（中学校用）の検定済教科書の見本もすべて展示します。意見箱も設置していますので、ぜひ会場へお出かけください。

展示会場一覧 ※会場によって開館時間、休館日等が異なりますので、ご注意ください。

・熊本市教育センター	中央区千葉城町2-35	☎096-359-3200
・熊本大学教育学部附属小学校	中央区京町本丁5-12	☎096-356-2492
・県立熊本聾学校	東区東町3丁目14-2	☎096-368-2135
・県立図書館	中央区出水2丁目5-1	☎096-384-5000
・幸田公民館	南区幸田2丁目4-1	☎096-379-0211
・西部公民館	西区小島2丁目7-1	☎096-329-7205
・龍田公民館	北区龍田弓削1丁目1-10	☎096-339-3322
・植木公民館	北区植木町岩野238-1	☎096-272-6906
・火の君文化センター	南区城南町舞原394-1	☎0964-28-1800

過去の展示会の様子



<問い合わせ先>指導課 Tel.328-2721

